



2015-16 年度 R I のテーマ「世界へのプレゼントになろう」

R I 会長 K. R. ラビンドラン (Be a gift to the world)

八戸南ロータリークラブ会報

例会日：毎週木曜日 12:30 例会場：八戸パークホテル

●ガバナー 鈴木 唯司 ●会長 伊藤 斉 ●幹事 吉田 立盛 ●コミュニケーション委員長 三浦 晃

ホームページ：<http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/> Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：<https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/>

Facebook ページに「いいね！」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：<http://www.rotary-aomori.org/2015/>

第 1955 回 例会 記録

《ロータリー財団委員会担当例会》

2015 年 11 月 26 日 (木)

点鐘 12:30

レポート No. 1387



桜田副 S A A

四つの反省

- 1) 真実だったか どうか
- 2) みんなに公平だったか
- 3) 好意と友情を深めたか
- 4) みんなのためになったか どうか



鈴木職業奉仕委員長

《ビジター》

山村和芳 様 (八戸 RC)

柿崎隆雄 様 (八戸東 RC)

小林 肇 様 (八戸中央 RC)

《会長要件》伊藤会長



新年度が始まり 4 か月が経ちました。何もわからないままに突っ走ってきましたが、何せポンコツ車の為あちこちガタがきてオーバーヒート気味で動きが鈍くなってきました。会長要件で皆様に何をお伝えするかも思い浮かばずガバナー月信を覗いたところ、財団の寄付者のページに黒田会員が載っていて「アーチ・クランフ・ソサエティ (レベル 1)」と付いていましたので、ロータリー用語便覧で調べてみました。読んでみます『現金の寄付累計が 25 万ドルを超えると、アーチ・クランフ・ソサエティのメンバーとなり、メンバーの写真が世界本部内のアーチ・クランフ・ギャラリーに飾られる。これは管理委員会が 2004 年 10 月に寄付者に感謝の意を示し、ロータリー財団の創始者アーチ・クランフの名前にちなみ、創設したものである。2005 年シカゴ国際大会の昼食会でチャーターメンバーの発会式が行われた。このメンバーには感謝状が贈られる。メンバーの写真が世界本部内のアーチ・クランフ・ギャラリーに飾られている。希望すれば、エバンストンの事務局で入会式典が行われる。個人として寄付した場合もあれば、法人名で寄付した場合もあると思うが、その合計額でアーチ・クランフ・ソサエティのメンバーとなることができる。2011 年 1 月 1 日より三つのレベルが設けられた。アーチ・クランフ・ソサエティのメンバーは、2013 年 6 月 30 日現在、世界に 453 人 (内日本人 22 人) もいる。』と有ります。想像もつかない金額ですがすごい事だけはわかります。今日はロータリー財団委員会の担当例会です。委員長の小原さんからは現実的なお話があると思いますので、皆さんよろしくお願いします。

《出席報告》大橋委員長

正会員数 47 名。本日の出席は免除会員 5 名を含む 31 名。出席率 74% です。前々回の例会はメーキャップなし、出席率 78% です。出席率が少し落ちているので来週もよろしくをお願いします。



《幹事報告》吉田立盛幹事

・例会変更のお知らせ



八戸 RC 12 月 16 日 (水) 日時場所変更、12 月 23 日 (水) 祝日につき休会、メーキャップ不可、12 月 30 日 (水) 任意休会。
八戸東 RC 12 月 4 日 (金) 時間場所変更、12 月 18 日 (金) 日時場所変更、12 月 25 日 (金) 任意休会。八戸北 RC 12 月 15 日 (火) 時間変更、12 月 22 日 (火) 任意休会、12 月 29 日 (火) 任意休会。

- ・12 月のロータリーレートは 120 円
- ・インターアクト年次大会の報告書が届いています。

《ニコニコボックス》吉田賢治委員長

小林肇様 (八戸中央 RC) :

新クラブ設立に御協力下さい。

伊藤会長：小原委員長、今日はよろしくをお願いします。

小原会員：今日はロータリー財団担当例会です、よろしくお願いします。

熊谷会員：伊藤会長、三川さん、写真ありがとうございました。



《ご挨拶》小林肇様 (八戸中央 RC)



八戸中央クラブの小林です。中央ロータリー 30 周年の時には沢山ご参加いただきましてありがとうございました。今日は皆様にお願いがあって久しぶりにメーキャップさせて頂きました。それは、八戸駅を中心とした新クラブ設

立についてです。工藤直前ガバナーの時に、八戸中央 RC の中村会員が地区の会員増強委員長に指名され、八戸地区に新しいクラブの設立を要望されました。彼はほとんど一人で活動し、今現在候補者が 10 数名集まっております。中央ロータリークラブとしては、自分たちの会員増強も出来ないのに新クラブの設立は非常に難しい事と知りつつも、スポンサークラブとなる事が決定いたしました。8名のプロジェクトチームを作り活動しております。活動の一環として八戸地区全会員の力をお借りする事になり、今日お伺いした次第です。会員増強の一つの足手まといに会費の問題があります。新クラブの会費は八戸地区平均の約半分、10 万円を予定しております。どうか皆様、会員候補者をご紹介して下さいませお願い申し上げます。貴重なお時間を頂き誠にありがとうございました。よろしくお祈り申し上げます。

《ロータリー財団委員会》小原委員長

本年度ロータリー財団委員長を仰せつかっている小原です。本日はロータリー財団委員会担当例会と言う事で私と、後半は熊谷さんにお話をさせて頂こうと思っています。今月は財団の月間ですが、本日 4 名の方から合わせて 1,400 ドルの寄付を頂きました。ありがとうございました。クラブの累計額については後ほどお話させていただきます。



皆様のレターボックスに資料を入れてありますが、インターネットから得られる情報なども交えてお話させていただきます。先ほど伊藤会長からお話がありました。今年 9 月 20 日に地区のロータリー財団セミナーが開催されました。ご承知の通り地区の財団委員長は長嶺ガバナーエレクトで、熊谷さんが地区補助金委員会委員長になっております。地区のホームページでガバナー月信を見ることが出来ます。11 月号は 20 ページあり財団の情報は 3 ページくらいに亘って載っております。ロータリージャパンのホームページの関係で申し上げますと、ホームページの中に「ロータリー関連資料」と言うのがあり、その中に「やさしいロータリー財団の話」と言うのがあります。その中に先ほど伊藤会長からお話がありましたアーチ・クラフが会長時代の「26 ドル 50 セントから始まった」と言うのがありますので最初の部分だけ読ませていただきます。『1917 年、当時、ロータリークラブ連合会（後の国際ロータリー）会長だったアーチ・クラフは、アメリカ・ジョージア州アトランタで開催された年次大会で、「ロータリーが基金を作り、世界的な規模で、慈善、教育、その他、社会奉仕の分野で、何かよいことをしようではないか」と提案しました。彼の提案は、同大会で採択されました。ロータリー基金（ロータリー財団の前身）への最初の寄付は、1917 年、ミズーリ州カンザスシティロータリークラブから寄付された 26 ドル 50 セントでした。今日、世界のロータリアンから多額の寄付を集めるこの財団が、順調にスタートしたわけではなく、6 年が経って、基金の残高はやっと 700 ドルに達したにすぎませんでした。その後、基金総額が 5,000 ドルに達した 1928 年のミネアポリス国際

大会で、この基金による事業開始の時が来たとして、基金の名称をロータリー財団と改め、元 RI 会長からなる管理委員会が運営する国際ロータリーから独立した組織となりました。』この時の会長のアーチ・クラフさんのお名前が先程ご紹介された、黒田元 RI 理事のアーチ・クラフ・ソサエティに冠されていると言う事です。お配りした「ロータリー財団担当例会資料」は大きく 3 つに分かれています。1 つが「財団室 NEWS」というものです。2 番目が RI のホームページからダウンロードした「月次寄付レポート」と言うものです。3 番目は資料を切り貼りして使っているかどうか迷いましたが、「クラブ・ロータリー財団委員会の手引き」というロータリー財団委員長に渡されるものの中から抜粋して 4 枚にまとめてみました。「財団室 NEWS」については、インターネットの関係もあるのであえてカラー刷りで皆様にお渡ししてあります。地区のホームページの右に「財団室 NEWS」と言うのがありますのでクリックするとダウンロードすることが出来ます。9 月 20 日の地区財団セミナーの時に、担当の島村 PG からこれに基づいてご説明があり、その時に初めてこういうものがある事を知りました。すでにご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、財団に関する情報がたくさん載っています。11 月号は全部で 12 ページありますが、皆様にはその中の 3 ページだけお渡ししてあります。1 ページ目をご覧いただくと「財団室 NEWS」は RI の日本事務局で作っていることがお分かりになると思っています。最初に、「11 月は財団月間ですよ」と言う事から始まっていますが、右側の真ん中あたりに「寄付総額世界上位 3 カ国」と言うのがあって、アメリカが 1 位、韓国が 2 位、日本が 3 位とあり、本文では「長い間世界第 2 位の寄付額を誇ってきた日本の寄付は第 3 位になっています」と言うような事が書いてあります。2 番目には「ポリオプラス」が書いてあり、3 番目に「RRFC」と言うのが書いてありますが、この「RRFC」というのは「ロータリー財団地域コーディネーター」の略で第 1 ゾーンの地域コーディネーターは岩淵様です。お名前を聞いて思い出された方もいらっしゃると思いますが、9 月に青森で開催された地区大会の時に RI 会長代理でお見えになった方が岩淵さんです。1 ページ目の右の方には色々な情報が載っており、RI レートや年次基金の目標が世界では 1 億 3 千万ドルであると言う事なども載っています。あえてカラーコピーにした理由ですが、青い字でアンダーラインをしている所はリンクが張ってあるのでクリックする事により簡単にそちらに飛ぶことが出来るようになっている、と言う事をお知らせしたかったからです。2 枚目の上から 14 行目くらいに「資料」という所があり、色々な財団の資料をダウンロードすることが出来ます。例えばこれは「ロータリー財団参照ガイド」をダウンロードしたのですが、先程の会長の説明に関連すると 16 ページから「認証」と言うのがあり「個人を認証する機会」という所に、ポール・ハリス・フェローとかマルチプル・ポール・ハリス・フェロー、ポール・ハリス・ソサエティの説明があります。当クラブでは長嶺ガバナーエレクトと鈴木さんがポール・ハリス・ソサエティのメンバーになっていると思います。18 ページにはメ

ジャーナラーや、黒田元 RI 理事のアーチ・クラフ・ソサエティの事が書いてあります。年次基金とは別に恒久基金と言うものがあり、恒久基金に 1,000 ドル以上贈った方はベネファクターと呼ばれ、当クラブでは 4 名の方がベネファクターになっております。「財団室 NEWS」の 2 ページ目に戻りますが下の方に「動画・ウェブページ」という所があり、青い部分をクリックして頂くと「ロータリーよりよい世界を目指して」とか「END POLIO NOW」とかのページに行くことが出来ます。右側にリソースとしてウェブページの紹介があり「ロータリーの補助金」とか「ポリオ撲滅」など色々なページがあり、その下の「寄付に関するレポート」では、My Rotary に登録して頂くと、役職に応じて色々なレポートを見ることが出来ます。クラブの会長・幹事は殆どのものを見ることが出来ると思いますが、財団委員長は財団に関するものは見ることが出来るようになっています。資料の 3 枚目は「財団室 NEWS」の 12 ページ目ですが、財団の 9 月末の寄付の報告です。2830 地区は 9 月末の会員数が 1,131 名、年次基金の目標は 10 万ドルくらいで、それに対して年次基金は 1 万 1 千ドルくらい入っていることがわかります。日本全体の 9 月末の目標は、886 万 9 千ドルくらい、世界では 6,770 万ドルくらいと言う事がわかります。一番下に世界における日本の割合が書かれていますが、年次基金の地区目標からいくと日本は世界の 13% くらいを占めています。

次の資料はマイロータリーから入っていった「月次寄付レポート」です。先ほどの「財団室 NEWS」では 9 月末でしたが、こちらは 10 月末で年次基金目標額が 11 万 2 千ドルくらいで、累計額が 2 万ドルくらいになっています。八戸南は 2,811 ドルで、この時点では青森東に続いて第 2 位となっています。当クラブの寄付の累計は本日頂いた寄付を足すと 4,611 ドルになり、年次基金目標はクリアしたような状況です。但し、鈴木ガバナーよりの目標は 1 人 150 ドルで、ポリオが 1 人 50 ドルと言う事になると、47 名の会員ですとポリオは 2,350 ドルくらい必要です。ポリオは今日現在 650 ドルになっておりますので、年次基金だけでなくポリオの方もお忘れなくお願いしたいと思います。

《熊谷地区補助金委員長》

地区補助金委員長の熊谷です。小原さんは立場上、寄付をいっぱい集めなければいけない立場ですが、その集まったお金がどのように活用されているかと言うのが皆さん興味のあるところだと思います。こ

れまでも何回か皆さんにご説明してきましたが、一番金額の多いのが年次基金で、このほかにも色々細かいのがありますが、大雑把に言いますとこの年次基金の全額が 3 年間プールされて、3 年後に各地区に分配されてくるという事です。その使い道は半分がグローバル補助金として、国際的な奉仕活動に使うもので、半分が地区財団活動資金として各地区の奉仕活動に使って下さいと言う形で戻ってきます。このように非常に有効的に使われていると言う事をご理解頂きたいと思えます。出しっぱなしではなく私たちもその恩恵を被っていると言う事です。一番わかりやすいのが当クラブも 2 月によろず相談をやっていますが、よろず相談にも地区からの補助金を活用しています。地区に対しての補助金を、申請のあった事業に対して審査して分配しているのですが、その分配した補助金を有効活用しているのがよろず相談です。2830 地区では例年 20 から 23 のクラブが申請して奉仕活動を実施しています。地区に来る金額としては例年 300 万円くらいでそんなに大きく変わりません。何故かと言うと寄付の金額が大体一定しているから RI から来るのもほとんど同じと言う事です。それを申請のあった各クラブに分配して奉仕活動に使っています。

他のクラブの奉仕活動を 2~3 紹介いたしますと、今年クリスマス例会で一緒に楽しむ五戸ロータリークラブさんは、五戸国際クラブの識字率向上として、近隣にお住いの外国人の方々の識字や日常会話、そして日本の文化になじんでもらうような活動をなさっています。先日韓国へ行って日本語が通じない経験をしてきましたが、外国人の方々にとっては非常にありがたい活動ではないかと思えます。弘前西ロータリークラブでは貸し傘を市役所に 300 本寄贈されています。これはロータリーの友にも載っています。五所川原ロータリークラブでは、サッカー大会の支援をしています。長い間継続されていますが新聞にも大きく取り上げられロータリーのアピールにもなっています。三戸ロータリークラブでは、北奥羽剣道大会を開催していますが、こちらも長年やっている事業です。補助金の総額が限られているため、申請された満額とはいかず足りないクラブもあるようですが、各クラブ持出をして活動されているようです。

寄付、寄付、寄付と言うといやらしい響きですが、その寄付が還ってきて、我々が有効に使っていることをご理解いただいて、ご協力をお願いしたいと思います。

